

事業番号

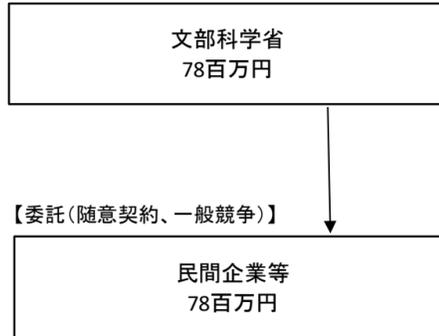
2023 - 文科 - 新24 - 0008

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)						
事業名	自律的なキャリア形成支援とリカレント教育普及促進に向けた実証研究事業		担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者		
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	生涯学習推進課 石橋 晶			
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版 (令和5年6月16日閣議決定)				
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進		主要経費	教育振興助成費				
施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大							
政策体系・評価書URL								
事業の目的 (5行程度以内)	大学での学びと卒業後のキャリアの繋がりを整理し、職務に必要な能力・スキルの可視化に関する取組を促進するとともに、社会人の学びにおいてもその結果を活用しリカレント教育プログラムの改善や企業における評価促進を図る。							
現状・課題 (5行程度以内)	新資本主義実行本部が掲げる「三位一体の労働市場改革」では、「リ・スキニングによる能力向上支援」が柱の一つとされ、それを支える「自律的なキャリア形成」も重視。自律的なキャリア形成を推進していくには、学びとキャリアの関係を整理して明確にするとともに、学びに向けたインセンティブを喚起・持続するための仕組みを工夫するなど、キャリアの中に学びを循環的に組み込むための後押しが必要。							
事業概要 (5行程度以内)	職業・キャリアに関して多くのデータや知見を有する人材サービス業者の協力を得て、大学における学びとその後の職業・キャリアとの関係性に関する調査研究を行い、その結果を活かして、①学生・社会人のキャリア観の育成や継続的な学びのインセンティブの喚起・持続をはじめとして、②大学における教育プログラムの質的改善、③企業の人事・研修制度における大学でのリカレント教育の活用、などにも資する取組について、総合的な実証研究等を行う。							
事業概要URL								
実施方法	委託・請負							
補助率等								
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	77
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-	77
		執行額(G)	-	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-	-
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	教育政策推進費			要望額(重要政策推進枠):77百万円			
	(目)	教育政策推進事業委託費		77				
	(目)	職員旅費		0				
	(目)	諸謝金		0				
	(目)	委員等旅費		0				
	(目)	庁費		0				
	(目)	その他	-	▲0				
	計(A)	-	77					

活動内容① (アクティビティ)		大学での学びと職務で求められる能力・スキルを可視化し、個人の自律的キャリア形成の意識向上を図るとともに、大学等のリカレント教育プログラムに対する企業の積極的評価や実際の活用に繋がる実証的取組を促進する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		卒業生への調査や企業へのリカレント教育プログラム提供・フィードバックを通じたプログラム改善等に取り組む大学を確保する。	実証研究に参加する大学数	活動実績	校	-	-	-	-	-
				当初見込み	校	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		実証研究に参加した大学卒業生を対象に、大学での学びと職業の関係性に関する調査分析等が実施されることで、個人の自律的キャリア形成や企業評価に活用できる一定の調査結果が得られる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		大学卒業生への調査を通じて、大学での学びが現在の職務にどう活かされているかを具体的な能力・スキルとして言語化・整理する。	整理された職務やキャリアに関する能力・スキル	成果実績	個	-	-	-	-	
				目標値	個	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		委託先への聞き取り調査等								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		調査分析から得られた結果を調査対象の大学の卒業生に共有するとともに、現在、当該大学で学ぶ学部生にも調査結果を活用した普及啓発活動等を行うことで、大学での学びの価値に対する認識が高まり、キャリアの中に循環的に学びを組み込み、必要な能力・スキルを積極的に獲得する自律的キャリア形成意識が向上する。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		自律的キャリア形成意識を持つことで、大学のリカレント教育プログラムを主体的に受講する個人が増加する。	調査対象大学が提供するリカレント教育プログラムを受講する社会人数	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	300	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		委託先への聞き取り調査等								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		個人の主体的学習行動に応じて、企業も受講成果を評価することで、個人のスキルアップとキャリアアップが連動し好循環が生まれるよう、大学等の教育プログラムで培われた具体的な能力・スキル等について積極的に企業にも周知し、大学等のリカレント教育プログラムへの従業員派遣を働きかける。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		大学等における受講成果を評価し、個人の研修制度へのプログラム導入や人事評価、処遇への反映を検討する企業が増加する。	実証研究における調査結果等の普及啓発を通じて従業員学習成果に対する積極的評価に向けて具体的な行動を起こした企業数	成果実績	社	-	-	-	-	
				目標値	社	-	-	-	5	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		委託先への聞き取り調査等								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

※執行実績がない新規事業のため現時点での予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック